

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス　まいはーとここあ緑井		公表日			2026年1月13日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		個室が少ない為、カーテンで仕切るなど個室の空間になるように工夫しています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、　職員の配置数は適切であるか。	○		満たしています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		絵カードや写真、文字カードを使用し視覚的にわかりやすく示しています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		活動に応じて運動の部屋、静かに過ごす部屋を分けるなど工夫しています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		1同様、カーテンで個別の部屋ができるよう工夫しています。	仕切り等で個別の部屋を作り増やしていけるよう改善していきます。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA　サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		職員が揃う会議や日々の申し送り等で共有し、PDCAサイクルに取り組んでいます。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向け評価アンケートにより、業務改善につなげています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		月1回の職員会議で意見交換に努めています。日々の申し送りでも業務確認に努めています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価を行っておりません。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			開催される諸研修への参加を進めています。法人内での研修等の実施する機会を増やしていきたいです。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		行っています。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		アセスメント、モニタリングは保護者との面談や送迎時に保護者との会話から行っています。また、学校等とも情報交換をしながらより利用者に合った計画を作成しています。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		毎日のミーティングや会議で、職員全員から意見をもらっています。相談や質問が出来る環境作りをしています。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか　。	○		毎日のミーティングや会議で、支援計画の共有し、いつでも確認が出来るような場所で管理をしています。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		確認を行っています。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに基づいた計画を立てています。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		その日のリーダーが利用者に合わせ立案しチーム内で共有し、話し合いを行っています。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		職員間で話し合いを行い活動が固定化しないよう気を付けています。			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		子どもの状況を把握したうえで計画を作成し、子どもが楽しいと思えるような支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日のミーティングでその日の利用者の事や前日の状況等を共有し支援しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後にいる職員間では行っていますが、勤務時間が異なりその日の振り返りが難しい場合は翌日のミーティングで行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日、個人の活動の記録を記入し、検証・改善につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		その都度モニタリングを行い、見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		子どもに応じて絵カードや文字カード等を用意し、自己選択ができるように支援しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者や管理者が参画し、毎日のミーティングや職員会議などで共有しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校や保護者と連携を図り、送迎時に情報共有を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		同じ事業所内では相談員を通して共有はできていますがその他の共有は難しい為、保護者の方を通し情報共有を行っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			まだ、卒業した子どもはいませんが、卒業後に当事業所への移行に関しては、十分に情報を提供していきたいと考えています。他事業所への移行の際も提供するように努めていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		現在は行っていませんが必要に応じて検討します。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		地域の公園に行った際には関りはありますがイベント等の交流は現在は行っていません。今後保護者からの要望があれば検討します。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		積極的に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時に直接お話しをしています。連絡ノートやメール、電話でも情報交換をしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		現在は行っていませんが、将来的に、家族支援プログラムを実施できるよう努めていきたいです。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明をしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		面談やモニタリングを通して確認する機会を設けています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画を作成後ご確認していただき署名を頂いています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		面談や送迎等で相談があった際には対応に努めています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○			保護者交流会はまだ開催できていませんが、今後開催できるよう考えています。 兄弟同士の交流の場は現在設けていませんので、保護者からの要望がありましたら検討します。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		対応の体制の整備はされていますので、その際には適切に対応していきます。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		月に1回、通信を作成し配布しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		職員一同留意しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		特性に合わせて絵カード、文字カードを使うなど意思疎通に努めています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		現在まで実施していませんが、今後検討していきたいです。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		事故防止・緊急時対応・防犯・感染症対応マニュアルの作成をしています。避難訓練を定期的に行っており、月1回の通信に記載しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		非常災害発生時の避難訓練を行い、日々の活動の中で紙芝居やクイズ等をして緊急時の知識を深めています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者の方から確認し、その場の状況に応じて対応しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			現在医師の指示書が必要な利用者がいないが、今後あれば対応していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画は作成しています。 危険な所は、ロールカーテンなどで視覚から入らないように工夫しています。	階段防止が外れたり、子どもが触って出入りができている為、外れない、出入りが簡単にならないよう改善していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		基本情報の管理をし、緊急時に持ち出せるよう説明をし、同意してもらってます。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの記録を活用して、いつでも確認できる場所に保管しています。 日々のミーティングで共有し、再発防止対策を話し合っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を開催し、また事業所内へ周知をしています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束が必要と感じる利用者の個別支援計画には記載しており、やむを得ず身体拘束を行った時には記録と共に保護者への周知を行っています。	